

1 検討委員会準備会における意見 (H30. 3. 19)

1.1 釜戸地区の現況について

【良い点】

- ・ハイキングコースは人気がある。
- ・中山道や下街道など、歴史的にも有名な道がたくさんある。
- ・JR 釜戸駅があり、観光資源もあるため、ポテンシャルはある。
- ・珍しい動植物が生息している。

【課題点】

- ・少子高齢化は、市内全域と比較して進行している。
- ・働き口がないため、若い世代は県外等へ出て行ってしまい、戻らない。
- ・公共交通に対する満足度が低い点が印象深い。
- ・子育てをするには不便であり、子育て世代は瑞浪地区へ移り住んでいる。
- ・商店がほとんどないため、瑞浪地区まで買い物に行かなければならない。
- ・子供の遊び場が少ない。
- ・後継者がおらず、廃業する事業所が増えている。

1.2 道の駅について

- ・この事業について地域住民みんなで共有できるように、可能な限り議論する時間を確保すべき。
- ・きなあた瑞浪がすでに直売所として整備されているため、それ以外で地域に寄与する施設を目指す方が良い。
- ・道の駅だけでなく、周辺地域も含めて、まちづくりや課題解決について考えていくべきである。
- ・道の駅の計画地は幼稚園が近く、通学路にもなっているので、子供たちの安全に配慮してほしい。

2 有識者ヒアリングにおける意見 (H30. 4. 19-原田先生・出村先生)

2.1 アンケート・ワークショップについて

- ・アンケートでは、住民に道の駅の運営に関わるかもしれないという当事者意識を持ってもらうことが重要。
- ・アンケートで具体的な関わり方を問うのは難しいため、具体の議論はワークショップで行うべき。
- ・ワークショップの開催結果は地域住民に知らせることで、意識や機運を高める方が良い。

2.2 今後の進め方について

- ・水辺の利用について検討すべきである。